

高等学校

教科【理科】

単元【生物基礎：バイオームとその分布】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

アンケート調査で得た情報を協働して集約し、ICTを活用した共同編集と、公開のためのデザインを対話を通して作成することで、生態系の保全について理解を深めることができる。

ICT活用のポイント

Google Classroomでファイルの共同編集を行い、協働的に学習成果を作成する。また、成果については公開し、地域との連携、地域の防災力向上に役立てる

使用する
ICT機器

タブレット・モニター

使用するアプリ・
クラウドサービス等GoogleClassroom、Googleスライド、
GoogleSite、国土地理院地図クラウド
の活用教材の配布・回収等
生徒の学習状況の把握資料等の共有
その他（クラウドサービス上での編集、成果の保存）本時の
ねらい

GoogleSiteに作成した情報ファイルを貼り付け、各担当ページを編集することができる

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○本時の学習内
容を確認

一斉

Classroomにアクセスし、スライド、Siteを編
集できるよう準備する

指針2

○作成した画像
ファイルと呼
び出す

個別

マイドライブに前回の作成ファイルがあるか
確認する

クラウド

○地図画像ファ
イルの作成

個別

国土地理院地図閲覧サイトにアクセスし、ク
ラウドサービスを利用して地図に情報を付加
し、共有ドライブに画像保存する

クラウド

地図編集のための基礎情報を事前に作成し、
KMLファイルとして保存、共有ドライブを活
用して読み込み、編集できるようにした

クラウド

【知】【態】
操作技量の差を
互いに協働する
ことでサポート
できる。

ここで評価

展開



※以降の展開

協働

○作成した画像ファイルを用いGoogleSite作成
○プライバシーポリシーの作成
○地図画像の許諾番号記載
○Googleスライドで印刷用資料を作成

クラウド

指針1

終末

○本時の振り返
り本時を振り返り、作成したデータをどのよう
にして地域の防災力に反映させるかを検討す
る。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。
 ※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。
 ※ 評価の観点 【知】=知識・技能 【思】=思考・判断・表現 【態】=主体的に学習に取り組む態度